

GLAFS コアセミナー (2015)

	内容	テーマ	講演者と肩書または研究指導	区分
4月18日	昨年度展開した6つの共同研究を報告。今年度のすすめ方について意見交換した後、高齢者体験セットを装着し、高齢者への支援方法を検討した。	高齢者体験	GLAFS 教員	CS1
4月25-26日	これまでの岩手県大槌町の取り組み・コミュニティ形成に関する講義と、住民参加型健康チェック、住民へのインタビューを実施。それらを通して超高齢社会のコミュニティ形成について学ぶ機会を設けた。	岩手県大槌町大ヶ口多世代交流会館演習	GLAFS 教員	CS1 CS2
5月9日	認知症の人がより良く生きていくための支援の在り方と、最先端の研究を紹介していただいたその後、認知症支援の在り方についてアイデアを出し合うGWを実施。	認知症の人への支援を生み出す	永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター研究部長）*	CS2
5月23日	ワシントン大学のShapiro先生をお招きし、国際WSを実施。	ワシントン大学での高齢社会研究	Larry J. Shapiro (ワシントン大学教授)	CS2
		Elder law in Japan how it should be developed	樋口範雄（法学政治学研究所教授）*	CS2
5月30日	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
6月6日	Grounded theory 法と、社会調査方法の講義。演習方式で、Quality of Life/Community/Society を測る研究プロジェクトに関するGWを実施。	質的研究の基礎	山本則子（医学系研究科教授）	CS2
		人・社会を「測定する」とは～社会調査法を中心に～	菅原育子（GLAFS 特任講師）*	CS2
6月20日	地域密着型サービス、一般介護予防・日常生活総合事業等、コミュニティでの暮らしを支える制度と具体的支援策について、お話を伺った。	地域包括ケアシステムの展望と次世代への期待	宮島俊彦（内閣官房社会保障改革担当室長前厚生労働省老健局長）*	CS2
		小規模多機能居宅介護支援事業の実態	柴田範子（NPO 法人「楽」理事長）	CS2
6月27日	(2期生) 新宿山団地「暮らしの保健室」の見学を通して、地域で支える訪問看護を現場学習。	地域を支える訪問看護	秋山正子（㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長）*	CS2
	(1期生) 「住まい」と「医療」を中心に、日米の対応の共通点や課題を探るワークショップに参加。	日米国際ワークショップ高齢社会と法—高齢者の住まいと医療、その他の課題	デイビッド・イングリッシュ（ミズーリ州立大学教授）	CS2
7月4日	世界の取り組みと秋田市の取り組みを比較し、活力のある超高齢社会について検討を行った。	WHOのエイジ・フレンドリー戦略について	狩野恵美（WHO 神戸センター）	CS2
		秋田市のエイジ・フレンドリー・シティの取り組みについて	斉藤恵美子（秋田市役所）	CS2

7月11日	コミュニティが主体となつて行う日常生活支援・介護予防の全国事例を学習。		全国コミュニティケアサミット	CS2
7月18-19日	民生委員、保健師、自治会長、NPO支援団体の方にインタビューをし、コミュニティ活動のファシリテーション案を立案した。	岩手県大槌町大ヶ口多世代交流会館演習	GLAFS 教員	CS1 CS2
7月25日	ロボティクス、情報技術などによる身体的・認知的支援の最前線、研究についての講義。 高齢者を支援する ICT について、GW を実施また、実際にウェアラブル機器の体験を行った。	高齢者のいる現場を支援する ICT の現状	関根千佳（同志社大学政策学部教授／(株)ユーディット会長兼シニアフェロー）*	CS2
		高齢者を支援する最近の ICT の研究の状況	檜山敦（情報理工学系研究科特任講師）*	CS2
10月3日	シニアを対象としたブログメディアのコンテンツについてお話を伺った。 「シニア対象のブログメディアの課題とその解決方法」について GW を実施。	シニアにとってのメディアを考える	蛭川真夫（(株)ジェイ・キャスト代表取締役会長兼社長）	CS2
10月17日	日本版 CCRC と地域包括ケアのまちづくりについて、現場と政策立案の両方の立場からお話を伺った。 「生涯活躍のまち」を考える GW を実施。	人がつながり、支えあい、ともに暮らすまちづくり	雄谷良成（社会福祉法人佛子園理事長）	CS2
		地方創成と生涯活躍のまち	高橋和久（前地方創生本部 CCRC 担当）	CS2
11月7日	高齢者のための新たなアミューズメントとして何が期待できるか、事業者側の立場からお話を伺った。 GW では高齢者のためのゲーム/アミューズメントビジネスを、学生が企画した。	カラオケによる高齢者の健康維持・増進	戸塚圭介（(株)第一興商）	CS2
		ゲームビジネスとゲームにおけるシニアへの取り組み	車田真之（(株)コナミデジタルエンタテインメント）	CS2
11月14日	生命保険事業を中心に、超高齢社会に対応するビジネスモデルのお話を伺った。 学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	超高齢社会の到来とビジネスモデルの考察～生命保険事業を中心に	野呂順一（(株)ニッセイ基礎研究所代表取締役社長）*	CS2
		個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
11月21-22日	学生が立案したイベントプログラムを実施。その後、役場職員を交え、振り返りをした。	岩手県大槌町大ヶ口多世代交流会館演習	GLAFS 教員	CS1 CS2
11月28日	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、在宅ケアなど、具体的なケースを比較しつつ、高齢者の新しい住まい方についてお話を伺い、GW を実施した。	脱施設化の意義と在宅ケアの方法	橋本俊明（(株)メッセージ会長）	CS2
		ベネッセスタイルケアの高齢者向けホーム	滝山真也（(株)ベネッセスタイルケア代表取締役社長）*	CS2
12月5日	日本の高齢者医療の変遷や、2025年に向けての課題、現場で求められていること等についてお話を伺った。 高齢者医療の今後に求めるもの、求められるものについて GW を実施。	日本の高齢者医療の進歩と課題—教育者としての見解—	大内尉義（虎ノ門病院院長）*	CS2
		日本の高齢者医療の進歩と課題—現場からの見解—	太田秀樹（医療法人アスムス理事長）*	CS2

12月12日	超高齢社会の課題に対する大和ハウスグループの取り組みと、兵庫県三木市における団地再生のケースについてお話を伺った。 結婚や就職などで居住選択をする場合に住みやすい街とはどのようなものかを検討するGWを実施。	超高齢社会の課題に対する大和ハウスグループの取り組み	濱 隆（大和ハウス工業(株)取締役常務執行役員）*	CS2
		団地再生の取り組みについて ～三木市緑が丘・青山地区～	脇濱直樹 森田博昭 川崎将司 （大和ハウス工業(株)大阪都市開発部）	CS2
1月23日	川崎市と大田区の高齢者施策についてお話を伺った。 地域の高齢者ネットワークづくりについてGWを実施。	川崎市の高齢者自立支援事業について	広岡真生（川崎市総務局）	CS2
		大田区の高齢者見守り事業について	澤登久雄（大田区地域包括支援センター）	CS2
2月13日	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
3月14日	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1

*はプログラム担当者